

持続可能な滋賀社会ビジョン「骨子と構成」(案)

- 1 背景とねらい
 - (1)背景
 - (2)ねらい
- 2 2030年の滋賀の姿
 - (1)2030年の社会経済の想定
 - (2)持続可能な滋賀の社会像
 - (3)現状推移型の社会像
- 3 指標と目標
 - (1)低炭素社会の実現
温室効果ガス排出量を半減
 - (2)琵琶湖環境の再生
健全な生態系の保全、安全・安心な水環境の確保、県民の暮らしと琵琶湖の関わり再生
- 4 社会像を実現するために必要となる対策・取組
 - (1)低炭素社会の実現
温室効果ガス排出量半減のための主な対策
家庭部門
機器のエネルギー効率、省エネ行動 . . .
業務
機器のエネルギー効率、省エネ行動 . . .
産業
機器のエネルギー効率、燃料シェア転換 . . .
旅客輸送
コンパクトシティ、自動車の燃費改善 . . .
貨物輸送
モーダルシフト、バイオマス燃料 . . .
その他
電力源単位、森林整備 等 . . .
 - (2)琵琶湖環境の再生
水質保全対策、琵琶湖流域の生態系の保全、人の暮らしと琵琶湖の関わりの実現
- 5 重点プロジェクト例
 - (1)低炭素社会の実現
持続可能な交通システムやそれを可能にするまちづくり
輸送距離の低減や地産地消を促進する木材や農産物の流通システム
エコ商品の販売促進などによるCO₂削減の支援システム
産業界を中心とするCO₂削減のしくみづくり
 - (2)琵琶湖環境の再生
- 6 資料
推計ツール、分析に用いたデータ等